

シラバス詳細

保健医療福祉科目													
授業科目名													
カリキュラム2012													
IPW実習 Interprofessional Work Practicum													
No.	時間割番号			開講時期				曜日・時限					
1	100300901			後期				集中					
配当年次 および 必須 (○)・選択 (○) の別													
No.	看護	理学	作業	社福	福祉	行動	検査	口腔	教職				
	編入			専攻	編入	専攻	専攻	専攻					
1	4○	3○	4○	4○		4○	3○	4○	4○	4○	4○	4○	
履修における注意点・履修条件等													
履修条件なし													
科目責任者	東 宏行			単位数・時間数	1単位 45時間			授業形態	実習				
科目担当者	畔上光代、櫻井育穂、宮部明美、森田牧子、青木恭子、滑川道人、久保田章仁、菊本東陽、松尾彰久、若林チヒロ、新井利民、相良翔、久保田亮、秋山恭子、井原寛子、川俣実												
授業の概要													
<p>本実習は、8月に行われるIPW実習①、10月に行われるIPW実習②に分けて実施される。</p> <p>各学科と一部他大学学生で構成する5～6名の混合チームが、2回のオリエンテーションなどの事前学習後、保健医療福祉施設で4日間の実習を行い、その最終日に複数のチームで集まり、実習の結果を報告し学びを共有する。</p> <p>なお、本科目の説明内容が多いこと、実習の事務手続きの関係で、4月のガイダンス期間に、最初の説明を行う。</p>													
学習のねらい													
<p>本科目の目的は、利用者中心の統合されたケアを創造するために、専門職連携実践の方法を身につけることである。</p> <p>また、次の4つの到達目標を学修を目指す。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 利用者・集団・地域の理解と課題解決の実践方法を身につける ② チームメンバーの専門性と多様性を相互理解する態度を身につける ③ チーム形成と協働の実践方法を身につける ④ 体験を振り返り、意味づけ、自分の課題を見出すためのリフレクションができる <p>利用者にとっての意味ある支援は、それを創出する履修者のチーム形成と相互理解のプロセスによるところが大きい。最終日に行われる報告会での発表内容について「よくまとまり過ぎている」「表面的な報告内容だった」などの評価を受けることがあるが、この実習で学修してほしいのは、専門職連携実践の方法であることを心にとめて参加して頂きたい。</p>													
関連するディプロマポリシー													
(1) 学部DP4													
授業の到達目標及び授業概要													
回	授業の到達目標			授業概要				担当教員	講演者				
1回	<ul style="list-style-type: none"> ・ IPW実習の目的・目標を履修の手引きを参照しながら説明する。 ・ 「IPW実習事前学習シート」(自己紹介、実習施設等に関する事前学習)の提出と説明をする。 ・ チームメンバーの人となりや専門分野について、説明できる。 ・ チームメンバーや教員と適切にコミュニケーションする。 ・ 課題に対してディスカッションする。 ・ チーム活動での自己の発言や行動をリフレクションする。 			<p>【履修の手引きの参照】</p> <p>オリエンテーション I (IPW実習①・②)</p> <p>8月5日月曜日 午後</p> <p>時間・場所 詳細はメール等で連絡</p> <p>チーム構成：5～6名、各学科＋一部他大学混合 他大学(埼玉医科大学、城西大学、日本工業大学)</p> <p>(内容)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 全体オリエンテーション <ol style="list-style-type: none"> 1) IPW実習の実際 2) IPW実習報告会について 発表方法、運営について 2. 施設ごとのオリエンテーション <ol style="list-style-type: none"> 1) IPW実習事前学習シート、2) 緊急連絡網の作成、3) 実習の進め方、4) 施設ファシリテータ 5) チーム活動 3. オリエンテーション II までの課題 <ol style="list-style-type: none"> 1) IPW実習事前学習シート、2) チーム全体での事前学習、3) その他 施設訪問等 				畔上、櫻井、宮部、森田、青木、滑川、久保田、菊本、松尾、若林、新井、相良、久保田、秋山、井原、川俣					
2回	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「IPW実習事前学習シート」(決意表明、チームビ 			【履修の手引きの参照】				畔上、櫻井、宮部、					

	<p>ルディングのための課題、他)の提出と説明をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作成に参加した「IPW実習 行動計画書」について説明する。 ・チームメンバーや教員と適切にコミュニケーションする。 ・行動計画の立案等についてディスカッションする。 ・チーム活動での自己の発言や行動をリフレクションする。 	<p>オリエンテーションⅡ</p> <p>IPW実習① 8月16日金曜日 午後 時間・場所はメール等で連絡</p> <p>IPW実習② 9月26日木曜日 午後 時間・場所はメール等で連絡</p> <p>(内容)</p> <p>1. 全体オリエンテーション</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) IPW実習の目的・目標の再確認 2) 学生としての態度・マナーについて 3) 個人情報の取り扱いについて 4) 報告会 5) 提出物と成績評価 6) 貸し出し物品の返却 7) お礼状について <p>2. 施設ごとのオリエンテーション</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 緊急連絡網の確認 2) 利用者・集団・地域の理解 3) 行動計画立案 4) 自分の目標設定 	<p>森田、青木、滑川、久保田、菊本、松尾、若林、新井、相良、久保田、秋山、井原、川俣</p>	
3～6回	<p>・「チーム形成のプロセスと相互理解からの学び」と「利用者・集団・地域の理解と課題解決の検討内容」を相互の関連性をもって説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チームメンバーや教員、施設担当者、利用者等の関係者と適切にコミュニケーションする。 ・課題解決の方針についてディスカッションする。 ・報告会において、自身のチームの発表、他チームの発表への傾聴・質問、全体討論などに参加する。 ・チーム活動での自己の発言や行動をリフレクションする。 	<p>【履修の手引きの参照】</p> <p>IPW実習① 8月19日(月)～22日(木)</p> <p>IPW実習② 9月30日(月)～3日(木)</p> <p>(内容)</p> <p>1日目 施設ファシリテータ紹介、施設の見学、地域探索など 行動計画に基づいて情報収集等 ディスカッション、リフレクション</p> <p>2日目及び3日目 行動計画の修正 インタビュー・見学・カンファレンスへの参加 ディスカッション、リフレクション</p> <p>4日目 まとめ、報告の準備 報告会への参加と発表</p>	<p>畔上、櫻井、宮部、森田、青木、滑川、久保田、菊本、松尾、若林、新井、相良、久保田、秋山、井原、川俣</p>	<input type="checkbox"/>

授業計画に関する特記事項

1回の授業時間は、学修内容によって異なる。1回目は14:40～17:50、2回目は、13:30～16:10で、3回目以降は、学外の実習地で行われ9:00～16:00を基本とする。

教科書

特になし

参考書、教材等

(参考書) IPWを学ぶ－利用者中心の保健医療福祉連携－(中央法規)、IPW実習履修の手引き

評価方法

オリエンテーションⅠ、及びオリエンテーションⅡの参加度(20%)

実習施設での実習および報告会(4日間)の参加度(40%)

提出物(IPW実習最終レポート、シート他)の内容(40%)

授業外における学習方法

ガイダンス、オリエンテーションや施設での実習のときに、「IPW実習 事前学習シート」「リフレクションシート」などの課題を出すので、よく説明を聞いて取り組んで頂きたい。

学習上の助言や授業改善に関する教員からのコメント

この科目は彩の国連携科目となっています。県立大学の5学科の学生混合チームを基本とするが、一部の学生チームに埼玉医科大学(医学科)、城西大学(薬学・薬科学・医療栄養学)、日本工業大学(工学部 生活環境デザイン学科)の学生が参加する。保健医療福祉科目(ヒューマンケア論、ヒューマンケア体験実習、IPW論、IPW演習)や専門科目などの中で培ってきた各自の力を出し合い、互いに研鑽して学修しよう。

授業における講演者(ゲストスピーカー)の情報

回	講演者氏名	講演の概要	備考

最終更新日: 2019/09/30 08:30

印刷

閉じる